

所属名	事務事業名	ページ番号
循環型社会推進課	可燃ごみ等収集運搬事業	2
循環型社会推進課	不燃ごみ収集運搬事業	3
循環型社会推進課	粗大ごみ収集運搬事業	4
循環型社会推進課	ビン・缶類収集運搬事業	5
循環型社会推進課	清掃工場維持管理運営事業	6
循環型社会推進課	有害ごみ（蛍光管等）処理事業	7
循環型社会推進課	清掃工場施設整備事業	8
循環型社会推進課	清掃工場二酸化炭素分離回収設備維持管理事業	9
循環型社会推進課	漂着物等災害廃棄物処理事業	10
循環型社会推進課	最終処分場維持管理事業	11
循環型社会推進課	有価物処理事業	12
循環型社会推進課	リサイクル工場維持管理運営事業	13
循環型社会推進課	廃食用油リサイクル事業	14
循環型社会推進課	一般廃棄物収集運搬処理事業（諸富町及び三瀬地区）	15
循環型社会推進課	ごみの堆肥化等リサイクル促進事業	16
循環型社会推進課	ごみ減量啓発事業	17
循環型社会推進課	有料指定袋事業	18
循環型社会推進課	資源物集団回収奨励事業	19
循環型社会推進課	容器包装リサイクル法関連業務	20
循環型社会推進課	事業系ごみ減量・リユース推進事業	21
循環型社会推進課	不法投棄防止対策経費	22
循環型社会推進課	ごみステーション適正管理経費	23
循環型社会推進課	事業系ごみリサイクル推進事業	24
循環型社会推進課	次世代型バイオ燃料実用化事業	25
循環型社会推進課	エコプラザ管理運営事業	26
循環型社会推進課	搬入ごみ予約システム運営経費	27
循環型社会推進課	休止最終処分場廃止検討経費	28

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	可燃ごみ等収集運搬事業	事業期間	昭和 46 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 廃棄物対策係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	「旧佐賀市内の一部」及び「旧久保田町以外の支所管内」に設置されているごみステーションに排出される「可燃ごみ」について業者に委託し、適正に収集運搬を行う。				
事業の対象者	「旧佐賀市内の一部」及び「旧久保田町以外の支所管内」の住民				
令和3年度 主な活動実績	旧佐賀市内の26のブロック、旧久保田町以外の支所管内のごみステーションに排出される「可燃ごみ」について、収集運搬業者に委託して適正に収集運搬を実施した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	283,829	284,451			
うち佐賀市の負担額	198,041	197,235			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
可燃ごみの適正収集率					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100	100 100	100	100	100	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	前年度同様に適正に収集運搬がなされている。研修や指導などを通じて委託業者と良好な関係を築き、今後とも適正な収集運搬を行う。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も研修や、清掃工場内への直接搬入時に不定期の検査などを通じて、委託業者と良好な関係を築きながら適正な収集運搬を行う。

# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	不燃ごみ収集運搬事業	<b>事業期間</b>	昭和 43 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 廃棄物対策係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	ごみステーションに排出される「不燃ごみ」について業者に委託し、適正に収集運搬を行う。				
<b>事業の対象者</b>	市内居住者				
<b>令和3年度 主な活動実績</b>	ごみステーションに排出される「不燃ごみ」について、収集運搬業者に委託して適正に収集運搬を実施した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	40,146	39,341			
うち佐賀市の負担額	0	0			

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
不燃ごみの適正収集率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	前年度同様に適正に収集運搬がなされている。研修や指導などを通じて委託業者と良好な関係を築き、今後とも適正な収集運搬を行う。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も研修や、清掃工場内への直接搬入時に不定期の検査などを通じて、委託業者と良好な関係を築きながら適正な収集運搬を行う。

# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	粗大ごみ収集運搬事業	<b>事業期間</b>	平成 2 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 廃棄物対策係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	「粗大ごみ」を清掃工場へ直接搬入して処理することが困難な市民のため、「ステッカー方式」又は「臨時収集方式」により、「粗大ごみ」を適正に収集運搬を行う。				
<b>事業の対象者</b>	市内居住者				
<b>令和3年度 主な活動実績</b>	「ステッカー方式」及び「臨時収集方式」によって、個別に収集を行う。 「ステッカー方式」では、毎月 25 日までに市内の金融機関で 1 個あたり 500 円のステッカーを購入してもらうことにより、翌月の指定日に収集する。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	21,500	25,764			
うち佐賀市の負担額	5,681	7,281			

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
粗大ごみの適正収集					%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
100	100 100	100	100	100	

成果指標②					単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	前年度同様に適正に収集運搬がなされている。研修や指導などを通じて委託業者と良好な関係を築き、今後とも適正な収集運搬を行う。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も研修や、清掃工場内への直接搬入時に不定期の検査などを通じて、委託業者と良好な関係を築きながら適正な収集運搬を行う。

# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	ビン・缶類収集運搬事業	<b>事業期間</b>	平成 3 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 廃棄物対策係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	ごみステーションに排出される「資源ごみ」について、収集運搬業者に委託して収集する。				
<b>事業の対象者</b>	市内居住者				
<b>令和3年度 主な活動実績</b>	ごみステーションに排出される「資源ごみ」について、収集運搬業者に委託して適正に収集運搬を実施した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	99,942	105,942			
うち佐賀市の負担額	99,942	105,942			

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
資源ごみの適正収集率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100	100	100		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	前年度同様に適正に収集運搬がなされている。研修や指導などを通じて委託業者と良好な関係を築き、今後とも適正な収集運搬を行う。



成果目標達成に向けた対応策等
今後も研修や、清掃工場内への直接搬入時に不定期の検査などを通じて、委託業者と良好な関係を築きながら適正な収集運搬を行う。

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	清掃工場維持管理運営事業	事業期間	平成 14 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 施設管理係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市清掃工場は、本市における可燃ごみの「適正な焼却」と「減容化」を行う主体となる施設である。その運営管理は民間事業者へ委託し、「効果的」かつ「効率的」に業務を実施する。 適正に「運営管理」と「施設の維持・管理」を行うことにより、焼却時に発生する有害物質を規制値内に抑えらるとともに、必要な施設機能を維持する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐賀市清掃工場運営業務委託</li> <li>・佐賀市清掃工場定期点検整備</li> <li>・各種設備の法定点検の受審</li> <li>・各種環境基準への排出抑制の証明となる計量測定の業務委託</li> <li>・焼却灰セメント資源化処理業務委託</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,027,331	1,061,879			
うち佐賀市の負担額	672,042	631,816			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
焼却量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
70,113	73,183 68,549	73,188	73,193	73,198		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	市内で発生したごみを環境値を超えることなく、安全に処理できている。



成果目標達成に向けた対応策等
施設の老朽化が進んでいることと、コロナ禍の影響によるごみの質と量の変動が維持管理上の懸念であるが、プラントメーカーとの協議と情報共有により適正な維持管理を継続する。

# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	有害ごみ（蛍光管等）処理事業	<b>事業期間</b>	昭和 59 ～ 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 総務係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	市内で収集された使用済み蛍光管や乾電池について、適切かつ一体的に処理するシステムを構築している民間事業者へ委託することで適正に処理する。				
<b>事業の対象者</b>	市民				
<b>令和3年度主な活動実績</b>	民間事業者へ委託し、廃蛍光管を適正に処理する。 また、令和3年度からは廃乾電池についても民間事業者へ処理委託を開始した。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	1,547	2,871			
うち佐賀市の負担額	0	0			

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①					単位
蛍光管の処理量					kg
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
10,390	10,380 7,990	10,370	10,360	10,350	

成果指標②					単位
乾電池の処理量					
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績	
0	12,760	12,760	12,760	12,760	

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	収集された使用済み蛍光管及び乾電池については、適正に処理を行っている。



成果目標達成に向けた対応策等
新規リサイクルシステムの動向調査や委託料の精査などを行いながら、引き続き適正に処理を行う。

令和4年度 公共事業進捗報告シート

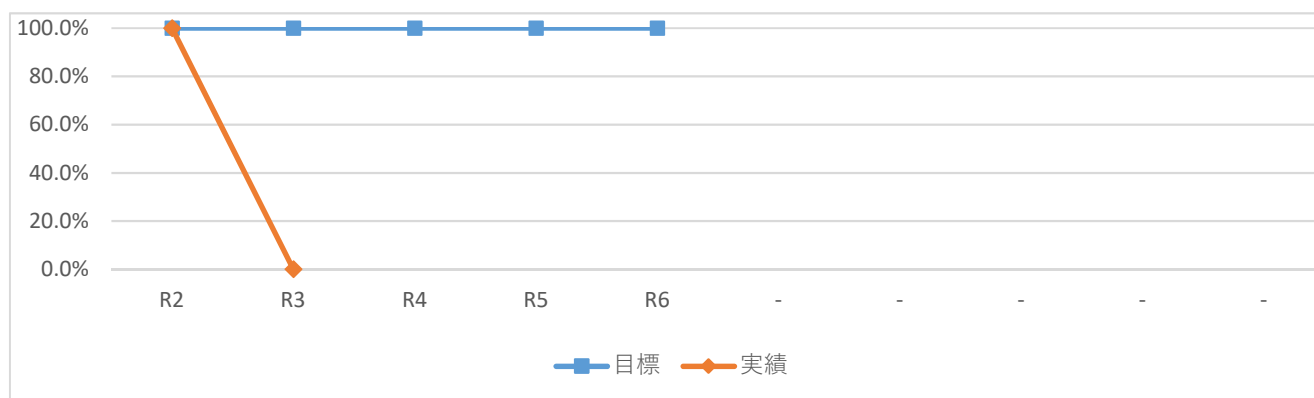
公共事業名	清掃工場施設整備事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 施設管理係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

1 公共事業の基本情報

整備概要	清掃工場及び関連施設において、当該年度に生じた所要の整備を実施する。				
整備の目的	清掃工場及び関連施設について所要の整備を行い、環境整備や機能維持を図る。				
<b>事業費決算（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
工事請負費	23,655	—			
測量・監理等委託料					
用地購入費					
補償費					
その他事務費等					
計	23,655	—	0	0	0
うち佐賀市の負担	23,655	—			
区分	年度	年度	年度	年度	合計
工事請負費					23,655
測量・監理等委託料					0
用地購入費					0
補償費					0
その他事務費等					0
計	0	—	0	0	23,655
うち佐賀市の負担					23,655

2 事業の進捗率

目標 R2	目標 R3	目標 R4	目標 R5	目標 R6	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績	目標 実績
100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%					
100.0%	—								





# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	清掃工場二酸化炭素分離回収設備維持管理事業	<b>事業期間</b>	平成 28 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 施設管理係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	<b>基本事業</b>	温暖化防止対策の推進	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	佐賀市清掃工場において可燃ごみの焼却時に排出されるガスから二酸化炭素を抽出し、需要家（3者）へ供給を行うことで、本市の増収及び二酸化炭素の排出量削減を図る。 二酸化炭素の抽出及び供給を安定して行うため、設備の維持管理と所要の薬剤購入等を行う。				
<b>事業の対象者</b>	二酸化炭素需要家				
<b>令和3年度 主な活動実績</b>	清掃工場周辺の需要家（ゆめファーム全農SAGA、（株）アルビータ、グリーンラボ）へ二酸化炭素の供給を行った。 供給量：67,109Nm <sup>3</sup>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	25,297	22,722			
うち佐賀市の負担額	25,297	17,377			

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
二酸化炭素供給量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
222	222 132	222	222	222		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
②概ね達成している	供給量の実績が目標を下回っているが、整備期間を除き、安定して供給することができた。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
引き続き維持管理に努め、安定的な運転を図る。

## 令和4年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	漂着物等災害廃棄物処理事業	<b>事業期間</b>	令和 2 ~ 3 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 総務係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	令和2年8月豪雨の影響で県が管理する海岸へ漂着したごみ（葦くず類）を、焼却処理するため清掃工場へ運搬する。 当該漂着ごみが海水由来の塩分を含んでいることから、令和2年度は塩分濃度を低下させるために仮置きし、令和3年度に運搬・処理を行った。				
<b>事業の対象者</b>	海岸管理者（佐賀県）				
<b>根拠法令等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	0	7,094			
うち佐賀市の負担額	0	7,094			

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
漂着物の処理量					t
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
0	371				

活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

令和2年度は、佐賀市一般廃棄物最終処分場に仮置きし、塩分濃度を低下させるための「雨ざらし」を行い、令和3年6月までに当該ごみの清掃工場への運搬と焼却処理を実施した。
--

# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	最終処分場維持管理事業	事業期間	昭和 56 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 総務係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市一般廃棄物最終処分場は、本市における「一般廃棄物」の最終的な処分を行う主体となる施設である。その運転管理は、「株式会社佐賀資源化センター」（本市との第3セクター方式）に委託し、効果的かつ効率的に業務を実施する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	不燃残さ等を適正に最終処分（埋立て）するとともに、「浸出水処理施設」をはじめとした各種施設や設備類等について適切に維持管理を行った。 ○埋め立て量：2,709 t				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	36,383	31,864			
うち佐賀市の負担額	36,383	31,864			

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
最終処分量（埋立量）						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,738	2,733 2,709	2,728	2,723	2,718		

年度	目標	実績
R2	2740	2740
R3	2733	2709
R4	2728	2728
R5	2723	2723
R6	2718	2718

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	市民のリサイクル意識の高まり、ごみ分別意識の高まりにより埋め立て量は微減している。

成果目標達成に向けた対応策等
今後も、「浸出水処理施設」をはじめとした各種施設や設備類について適切に維持管理を行い、安定的に事業を継続するとともに、埋立量の縮減に繋がる事業や取り組みについて検討を行う。

# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	有価物処理事業	事業期間	平成 3 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 総務係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

## 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	最終処分場に搬入された資源物（ビン、缶類）についての「選別業務」及び選別した有価物の「売却業務」を、第3セクター企業（株式会社佐賀資源化センター）に委託して実施する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	有価物（ビン、缶類）の選別を適正に行うことにより、リサイクルの促進と埋立量の縮減を図った。 ○選別した有価物の量：1,952.8t				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	75,900	71,154			
うち佐賀市の負担額	75,900	71,154			

## 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
選別した有価物の量（ビン・缶）						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2060.9	2,062 1952.8	2,063	2,064	2,065		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	最終処分場に搬入された資源物（ビン、缶類）の搬入量の減少により、有価物の量も減少している。



成果目標達成に向けた対応策等
今後とも、有価物（ビン、缶類）の選別を適正に行うことにより、リサイクルの促進と埋立量の縮減につなげる。

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	リサイクル工場維持管理運営事業	事業期間	平成 16 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 総務係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	リサイクル工場は、本市において発生した「ペットボトル」、「不燃ごみ」、「紙・布類」、「粗大ごみ」等の選別業務を実施する上で主体となる施設である。その運転管理は民間事業者者に委託し、効果的かつ効率的に業務を実施する。また、施設の設備について適切に整備し、安全な操業を行う。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	○リサイクル工場運転業務委託 リサイクル工場に搬入される不燃ごみを選別し、有価物を搬出した。 ○リサイクル工場定期点検整備 リサイクル工場の運営に必要な設備の整備を行い、適正な状態を保った。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	95,704	112,679			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
資源物搬出量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
4,554	4,500 4,692	4,501	4,502	4,503		

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	リサイクル工場に搬入される不燃ごみを、適切に選別し搬出している。



成果目標達成に向けた対応策等
施設内の設備について適正な維持管理を継続しながら、委託している民間事業者との連携を深めることで、より効率的なリサイクル体制の構築を目指す。

# 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	廃食用油リサイクル事業	<b>事業期間</b>	平成 16 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 3R推進係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

## 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	市内から排出される廃食用油を、各種公共施設やスーパー等に設置した回収ボックス及び市内事業所から定期的に回収し、清掃工場敷地内の廃食用油再生プラントで高品質バイオディーゼル燃料（HiBD）に精製することで、脱炭素社会へ貢献する。なお、精製した燃料は市営バス及びごみ収集車等の燃料として利用することで、地域資源循環による再生可能エネルギーの利活用を推進する。				
<b>事業の対象者</b>	廃食用油を排出する市民及び市内事業所				
<b>令和3年度主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>回収ボックス及び市内事業所からの廃食用油回収業務（環境保全課）</li> <li>回収した廃食用油の異物除去業務</li> <li>民間委託による廃食用油再生（HiBD精製）業務</li> <li>精製プラントの維持管理業務</li> <li>廃食用油の保管管理業務</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	7,815	8,673			
うち佐賀市の負担額	6,467	6,901			

## 2 成果指標の目標及び実績

<b>成果指標①</b>					<b>単位</b>	
高品質バイオディーゼル燃料（HiBD）精製量					ℓ	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,805	26,000 9,796	30,000	40,000	50,000		
<b>成果指標②</b>					<b>単位</b>	
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

## 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
③達成できていない	新プラントの導入後、精製燃料の品質に若干のバラツキが見られたため、適宜必要な改良や運転方法の改善等に努めてきた。年度後半において品質の安定化が図られてきたため、今後は精製量の増加が見込める。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
精製施設の24時間運転が実現すれば精製量の更なる増加が図れるが、長期連続運転時の安定稼働確立、夜間の運転管理体制整備（無人化プログラムの構築）、製品タンク容量等の法的課題などをクリアする必要がある。また、更なる収率向上を目指した精製技術の研究も必要である。今後とも目標達成に向け各種課題の解決、関係機関との調整を進める。

## 令和4年度 事務事業実績報告シート

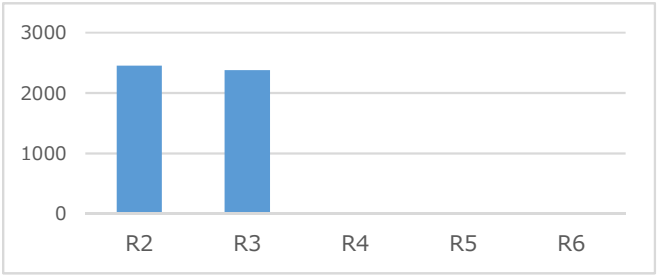
<b>事務事業名</b>	一般廃棄物収集運搬処理事業（諸富町及び三瀬地区）	<b>事業期間</b>	昭和 51 ～	年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 総務係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子	
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち		
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築		
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理		

### 1 事務事業の基本情報

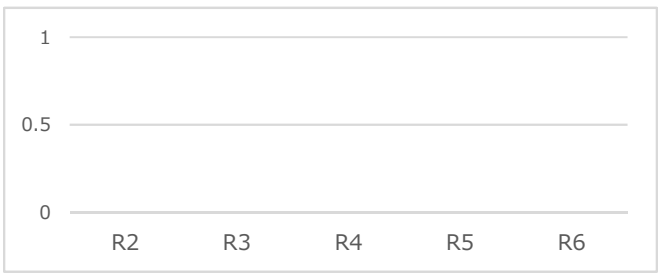
<b>事業概要・目的</b>	現在、諸富町及び三瀬村から排出される一般廃棄物は、「脊振共同塵芥処理組合（一部事務組合）」において処理していることから、その処理にかかる負担金を支払う。				
<b>事業の対象者</b>	諸富町及び三瀬村の住民				
<b>根拠法令等</b>	廃棄物の処理及び清掃に関する法律				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>	140,911	141,596			
うち佐賀市の負担額	135,911	136,596			

### 2 事業の活動実績

活動実績①					単位
一般廃棄物の処理量（旧諸富町及び旧三瀬村）					t
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	
2,452	2,377				



活動実績②					単位
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	



### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>・脊振共同塵芥処理組合の処理施設は、令和5年度まで稼働する計画であり、令和6年度以降の諸富町及び三瀬地区のごみ処理は、本市が単独で実施する予定となっている。</p>
---

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ごみの堆肥化等リサイクル促進事業	事業期間	平成 22 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 3R推進係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	家庭から排出される燃えるごみの約4割を占める生ごみを中心に、3Rの中で最も優先順位の高いリデュースに特化した事業を展開することで、バイオマス資源である生ごみ等の有効活用を図り、地域資源循環型社会及び脱炭素社会の構築に寄与する。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭用生ごみ処理容器等の購入費補助 153件</li> <li>生ごみ堆肥化や減量方法に精通した団体に委託し、生ごみ減量のサポートや体験型講座を実施 講座実施 51回、サポート 270回</li> <li>佐賀市清掃工場や佐賀市清掃工場南部中継所に持ち込まれた剪定枝の一部をチップ化し、マルチング材や堆肥の原料として無料で配布 2.43t</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	8,448	9,004			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
家庭系生ごみ排出量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
16,132	15,308 15,688	15,073	14,884	14,621		

成果指標②						単位
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量						g
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
646	615 627	611	608	605		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	令和3年度から開始した家庭用電動の生ごみ処理機への購入補助は初年度から35件もの申請があった。また、生ごみ処理容器への購入補助も例年並みの件数を維持できていることから、ごみ減量に一定の効果があったと考える。



成果目標達成に向けた対応策等
市民一人ひとりがごみ減量の取り組みを日頃から意識して実践してもらえるよう、ごみの分別やリサイクルについての広報・周知を徹底する。家庭用生ごみ処理容器を利用する市民（特に新規）に対しては、利用を継続できるよう、随時委託団体によるサポートを行う。



## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	ごみ減量啓発事業	事業期間	平成 3 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 3R推進係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ごみの分別や減量について出前講座や広報媒体を通じて市民に周知することで、市民の意識高揚を図る。ごみカレンダー・分別表を配布し、ごみの適正排出を促す。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報啓発 50件（市報32件、生活情報誌4件、新聞記事5件、テレビ・ラジオ・その他11件）</li> <li>・ごみカレンダー・分別表配布 市内約10万世帯</li> <li>・職員出前講座 12件</li> <li>・高校生エコチャレンジ 市内公立校7校（参加者1509人）</li> <li>・買物袋持参率調査 市内10店舗（持参率73.2%）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	6,244	3,526			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
家庭系ごみ排出量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54,618	52,090 52,760	51,728	51,511	51,034		

成果指標②						単位
1人1日あたりの家庭系ごみ排出量						g
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
646	615 627	611	608	605		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	昨年度と比較して、ごみ減量につなげることはできたが、目標達成にはいたらなかった。令和3年度もコロナ禍による影響で出前講座等の回数が制限され、市民に直接啓発する機会が減少した。今後とも様々な広報媒体を活用した周知広報に努めていきたい。



成果目標達成に向けた対応策等
様々な広報媒体を活用し、家庭で出来るごみ減量方法やリユースについて情報提供するとともに、ごみ分別やリサイクルについての周知広報を徹底する。

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	有料指定袋事業	事業期間	平成 8 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 総務係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	ごみを排出する際に利用する指定袋を有料にすることで、ごみの排出量に応じた費用負担となることから、ごみの減量やリサイクルの推進につなげる。 ごみ処理施設の統廃合に伴い、指定袋の仕様について一部を旧佐賀市のものに統合しており、「諸富町及び三瀬村」の7種類と、「その他の地区」で9種類の合計16種類を取り扱っている。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	○指定ごみ袋の製造枚数：13,941,000枚（佐賀市合計） ○指定袋取扱店数：377店（支店、自治会等を含む）				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	184,831	186,424			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
資源化率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
18.6	19.5 18.2	19.8	20.2	20.5		

成果指標②						単位
家庭系ごみ排出量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
54,618	52,090 52,760	51,728	51,511	51,034		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	昨年度と比較して、ごみ減量につなげることはできたが、目標達成にはいたらなかった。今後も、市民に対してごみの減量やリサイクルの推進の取り組みを続けていく。



成果目標達成に向けた対応策等
将来的な指定袋のあり方について、「仕様の統一」とごみ処理費用に応じた「適正な価格設定」の検討を行う。

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	資源物集団回収奨励事業	<b>事業期間</b>	平成 8 ~	年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 3R推進係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子	
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち		
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築		
	<b>基本事業</b>	家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル		

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	自主的に資源物回収運動を実施している団体に対して奨励金を交付することにより、佐賀市のごみの減量および資源の有効利用を図る。				
<b>事業の対象者</b>	佐賀市内の営利を目的としない住民団体（例：自治会、子ども会、婦人会等）				
<b>令和3年度 主な活動実績</b>	登録申請団体201団体 奨励金交付団体（集団回収実施団体）188団体 回収資源物量798,344kg				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	2,565	2,395			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
資源物回収量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
855	900 798	900	900	900		

成果指標②						単位
回収実施団体数						団体
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
188	190 188	190	190	190		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	近年のペーパーレス化による新聞や雑誌などの回収量減に加え、コロナ禍の影響もあって資源物回収が出来なかった団体が多くあった。



成果目標達成に向けた対応策等
近年の資源物回収量の減少傾向は、ペーパーレス化による新聞や雑誌などの消費量減が大きく影響していると思われるため、回収量の増加は困難と思われるが、燃えるごみに混入する紙類もまだまだ多いと思われるため、更なる分別の周知には努めていきたい。また、コロナ禍の影響もあって資源物回収が出来なかった団体へも状況を見ながら資源物回収の実施を働きかけていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	容器包装リサイクル法関連業務	事業期間	平成 9 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 3R推進係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	市民から分別収集した容器包装廃棄物のうち、ペットボトル、ガラスびんを国の指定法人に引渡し、再商品化することで、リサイクルの推進を図る。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	○引渡実績 ※脊振クリーンセンター処理分（三瀬・諸富）を除く ・無色びん：518.84 t ・茶びん：469.38 t ・その他びん：278.88 t ・ペットボトル：490.63 t				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,062	986			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
ペットボトル引渡実績						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
493	501.1 490.6	514.1	527.5	541.2		

成果指標②						単位
びん類引渡実績（無色びん+茶びん+その他びん）						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,341	1298.7 1267.1	1272.1	1246	1220.6		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	近年の飲料容器のペットボトル化の動きは鈍っていないため、びん類の引渡実績は減少傾向が続いている。ペットボトルについては、回収量は増加しているものの異物除去量も多く引渡し量が横ばい傾向のため、市民への分別ルールの周知徹底に努める必要がある。



成果目標達成に向けた対応策等	
容器包装リサイクルの推進のためには、国が定めた分別基準に適合するよう、異物除去を徹底する必要があるため、市民への分別ルールの周知広報に努めていく。 また、プラスチック資源循環促進法の施行により、容器包装廃棄物の量にも影響が生じるとされる。社会情勢の変化等も加味しながら、適切な分別収集計画の策定に努め、容器包装廃棄物のリサイクル推進を図っていく。	

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	事業系ごみ減量・リユース推進事業	<b>事業期間</b>	平成 11 ~ 令和 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 3R推進係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	事業系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	事業系ごみ排出者責任の原則を市内の各事業者を理解してもらうことで、ごみの排出抑制とリサイクルに対する意識の向上を図り、事業系ごみの減量化及び資源化を図る。年間36トン以上の一般廃棄物を排出する「多量排出事業者」には、廃棄物減量推進責任者の選任と廃棄物減量計画書の提出を義務化すると共に、研修会や訪問指導を行うことで、事業系ごみの排出抑制とリサイクル意識の向上を図る。				
<b>事業の対象者</b>	市内事業者				
<b>令和3年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・指導対象の多量排出事業者数 57件</li> <li>・事業所訪問数 8件</li> <li>・ごみ減量セミナーの実施 1回（参加者123名）</li> <li>・食品ロスゼロ推進店の新規登録 60件（合計100件）</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	88	90			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
事業系ごみ排出量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
29,245	30,163 28,226	29,452	28,838	28,088		

成果指標②						単位
減量計画実践等により排出量を減量した事業者数						事業所
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
38	40 49	40	40	40		

### 3 事業成果の振り返り

<b>成果目標の達成状況</b>	<b>成果目標の達成状況に対する分析</b>
①達成している	事業所系ごみはコロナ禍の影響も大きく、昨年と比較しても減少している。なお、事業所がSDGsを意識した取り組みを積極的に進める動きがあることから、食品ロスゼロ推進店も大きく増加した。今後とも事業所への周知広報に努めていきたい。

#### 成果目標達成に向けた対応策等

昨年に引き続き、令和3年度もコロナ禍の影響があり、事業系ごみ排出量が大幅に減少し、結果としてごみ処理基本計画の目標を達成している。しかしながら、この状況は一過性のものと思われるため、市内排出事業者に対する分別指導を徹底するとともに、リサイクル方法等の情報提供にも努めていく。

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

<b>事務事業名</b>	不法投棄防止対策経費	<b>事業期間</b>	令和 2 ~ 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 廃棄物対策係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	廃棄物の不法投棄は、環境を汚染したり、景観を損なうなど生活環境を悪化させるため、ごみステーション等に不法投棄された廃棄物を処理業者に委託して処分する。また、道路等で死んでいる小動物の回収を行い、環境の保全を図る。				
<b>事業の対象者</b>	市内住民				
<b>令和3年度 主な活動実績</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不法投棄された廃消火器63本、廃タイヤ39個及びテレビ等34個を収集運搬業者に委託して処分</li> <li>道路等で死んでいる小動物を回収した。(土日は業者に委託)</li> </ul>				
<b>決算の推移 (単位 千円) ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業総額</b>	1,163	1,274			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
不法投棄物や小動物の適正収集						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
100	100 100	100	100	100		

Line graph showing performance for Indicator 1. The Y-axis represents percentage from 0 to 150. The X-axis shows fiscal years R2 to R6. A blue line with square markers represents the target (100%), and an orange line with diamond markers represents actual performance (100%).

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		

Line graph showing performance for Indicator 2. The Y-axis represents percentage from 0 to 1.5. The X-axis shows fiscal years R2 to R6. A blue line with square markers represents the target (0%), and an orange line with diamond markers represents actual performance (0%).

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	不法投棄されたものや小動物について、適正に回収、処分がなされている。



成果目標達成に向けた対応策等
不法投棄されたものや小動物について、適正に回収、処分がなされている。これからも適正処分・回収にむけて、委託業者へ指導していく。

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

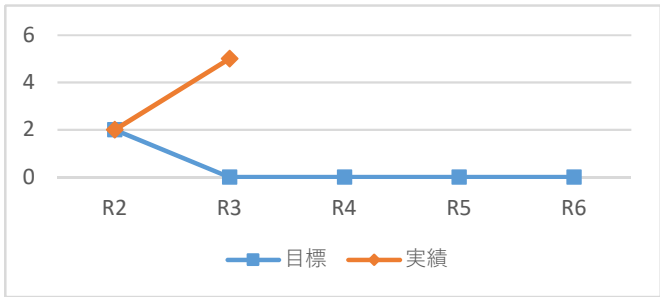
事務事業名	ごみステーション適正管理経費	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 廃棄物対策係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	各家庭からごみステーションに出された再生資源物について、市または市の委託を受けて収集運搬を行う業者以外は収集運搬してはならないが、換金目的で持ち去りを行う者がいる。再生資源の持ち去りを未然に防ぐ目的で希望する自治会に監視カメラを設置している。				
事業の対象者	市内住民				
令和3年度主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>再生資源物持ち去り防止を防ぐため、希望する2つの自治会へ監視カメラを設置している。</li> <li>市民等からの情報提供をもとに、資源物持ち去り防止のパトロールを実施した。また、設置しているカメラにより持ち去りを行おうとする者への注意を促した。</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	2,829	2,955			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

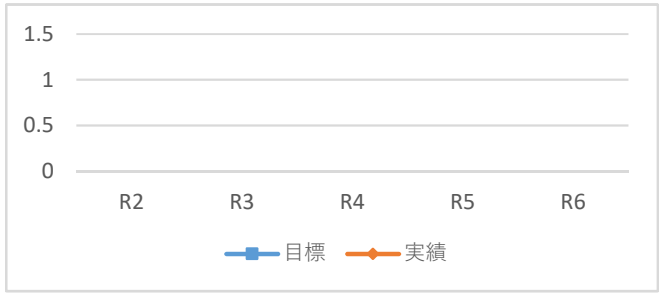
成果指標①						単位
再生資源物の持ち去り件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2	0 5	0	0	0		



年度	目標	実績
R2	0	2
R3	0	5
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

成果指標②						単位
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		



年度	目標	実績
R2	0	0
R3	0	0
R4	0	0
R5	0	0
R6	0	0

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	通報を受けてからの現場確認や資源物持ち去り禁止の看板等で啓発を行っているが、ごみステーションからの持ち去りは増えてしまっている。資源物の中でも古紙類のみならず、不燃ごみから家電製品も抜き去られている状況である。



成果目標達成に向けた対応策等
適正処理されることを期待して排出された資源物の持ち去り行為は、ごみの分別ルールを守っている市民の環境に配慮したりリサイクル意識を著しく低下させることも懸念される。資源物持ち去りについて、今後もパトロールや自治会と協力して、持ち去り者「0」を目指す。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	事業系ごみリサイクル推進事業	事業期間	令和 2 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 3R推進係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	事業系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市清掃工場に搬入される事業系ごみの大半は、生ごみや紙おむつ等が占める。これらの減量に向けて、排出事業者が自己処理を行うための「生ごみ処理機導入費補助制度」の活用や「食品リサイクル産業支援のための補助制度」の検討、さらには「紙おむつのリサイクル」に向けた研究等を行う。				
事業の対象者	市内に事業所を有する事業者				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生ごみ処理機導入に向けた事業所訪問等 2事業所</li> <li>○コロナ禍で設備投資が難しい等の理由により導入は断念。</li> <li>○食品リサイクルのための「フードバンク」「フードドライブ」活動事業所の調査</li> <li>○ごみになる前に支援が必要な方へ届ける活動をFMラジオ等広報媒体を活用し行った。</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	1,760	0			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
生ごみ処理機による処理量						t
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
9	14 2	14	14	14		

成果指標②						単位
生ごみ処理機導入件数						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1	2 0	2	2	2		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	生ごみ処理機など、機械設備の導入については、当面コロナ禍の影響により難しい状況が続くとみられる。リサイクルの着眼点をコスト面からのアプローチだけではなく、SDGsへの貢献として大きな視点での取り組みもPRしながらのアプローチも試みたい。



成果目標達成に向けた対応策等
近年、企業のSDGsへの貢献意欲が増していることから、「ゼロカーボンシティさがし推進パートナー制度」のPRを併行して進めることで、生ごみ処理機導入への意欲向上に繋げていきたい。今後も継続して事業者への適切な情報提供に努めながら、紙おむつなど新たなリサイクルの検討も働き掛けていきたい。



令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	次世代型バイオ燃料実用化事業	事業期間	平成 30 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 3R推進係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	19地球にやさしい低炭素社会の構築	
	基本事業	再生可能エネルギーの普及促進	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	従来、廃食用油から精製していた軽油の代替燃料は、現在、市場において主流となっているコモンレール式ディーゼルエンジンには適応せず、使用できる車両が減少してきていた。このため、高品質のバイオディーゼル燃料（HiBD）を導入・精製し、市営バスやごみ収集車等の燃料として利用することで脱炭素社会へ貢献する。また、「付加価値の創出」や「廃食用油を原料としたバイオジェット燃料の精製」などの民間研究について支援等を行う。				
事業の対象者	廃食用油を排出する市民及び市内の事業所				
令和3年度 主な活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内回収BOX設置数及び回収量 104か所 71,020 ℓ</li> <li>市内回収事業所数及び回収量 166か所 48,359 ℓ</li> <li>ファミリーマートとの連携協定に基づき、コンビニエンスストア店舗（6店舗）からの使用済み食用油を回収</li> <li>HiBDの使用車両（軽油との混合利用）：市営バス全車両（約70台）、ごみ収集車4台</li> <li>民間事業者との共同研究 1件</li> </ul>				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	492	282			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
廃食用油回収量						ℓ
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
123,561	125,000 119,379	130,000	140,000	150,000		

成果指標②						単位
高品質バイオディーゼル燃料（HiBD）使用量						ℓ
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
1,928	26,000 9,167	30,000	40,000	50,000		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
③達成できていない	新プラント導入後、精製燃料の品質にバラツキが見られた。適宜必要な改良や運転方法の改善に努めたことで品質の安定化が図られてきたため、今後は精製量の増加が見込める。市営バスの全車両でHiBDの使用が可能となったことから、使用量の増加も見込める。



<b>成果目標達成に向けた対応策等</b>
HiBDの品質の安定化が図られてきたため、今後は精製プラントの安定稼働と精製量の更なる増加に努めるとともに、市民や飲食店等への周知広報に努めることで、廃食用油回収量の増加にも尽力する。また、HiBDの汎用性の高さから、民間企業からの問い合わせや実証研究の引き合い等も増えていることから、引き続き新たな利活用方法の検討・研究も行っていく。

令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	エコプラザ管理運営事業	事業期間	平成 15 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 3R推進係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	家庭系ごみのリデュースとリユース・リサイクル	

1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市の環境学習の拠点施設であるエコプラザにおいて、3R（リデュース、リユース、リサイクル）を始めとし、環境全般をテーマとした講座・イベントの実施と情報発信、また、施設見学案内、再生品の販売などを実施する。それにより廃棄物の発生抑制や再利用、廃棄物の適切な分別などに関するの市民の意識を向上させ、豊かな自然を守るとともに、ものを大切に、環境に配慮した生活スタイルを身につけさせる。				
事業の対象者	市民				
令和3年度主な活動実績	3Rを始めとし、環境全般をテーマとした講座・イベントの実施と情報発信、また、施設見学案内、再生品の販売などを行った。 施設見学・視察：177団体（7,117人）、会議室利用：124団体（6,804人） 環境啓発に関する講座：102回（参加者615人） 環境に関するイベント（エコマーケット等）：10回（参加者1,796人）				
決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	19,574	19,768			
うち佐賀市の負担額	0	0			

2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
総来館者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
27,883	30,000 30,375	32,500	35,000	37,000		

成果指標②						単位
各種講座・イベント参加者数						人
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
2,808	4,000 2,411	5,000	6,000	6,500		

3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
②概ね達成している	令和3年度も引き続きコロナ禍の影響はあったが、徐々に来館者は戻りつつある。イベントについては、大雨やまん延防止期間により中止した月もあるが（8・9・2月エコマーケット中止、1月映画祭中止）、各種講座については例年以上に実施できた（令和2年度95講座542人⇒令和3年度102講座615人）。

成果目標達成に向けた対応策等

今後ともエコプラザが目指す「集う」「学ぶ」「結ぶ」のコンセプトのもと、気軽に来館できるイベント等の実施や、家庭での実践行動に繋がるような各種講座を開催する。また、エコプラザ利用者や利用団体等を相互に繋げることで、地域課題や社会課題の解決に繋がるように努める。なお、令和3年度はコロナ禍の影響により、来館者が大幅に落ち込んだ。今後も感染対策を講じたうえで、少人数で参加できる講座を中心に実施するなど、社会情勢にあわせて工夫した運営を行っていく。

## 令和4年度 事務事業進捗報告シート

事務事業名	搬入ごみ予約システム運営経費	事業期間	令和 3 ~ 年度
担当部署・係名	循環型社会推進課 総務係	担当課長名	馬場 佳子
総合計画における位置づけ	政策	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	施策	20持続可能な循環型社会の構築	
	基本事業	ごみの適正処理	

### 1 事務事業の基本情報

事業概要・目的	佐賀市清掃工場及び佐賀市清掃工場南部中継所への、土曜日及び祝日のごみの直接搬入を事前予約制とすることにより、混雑緩和、搬入件数の平準化、場内の安全確保を目的とする。				
事業の対象者	市民				
令和3年度 主な活動実績	令和3年6月より予約搬入開始（予約受付は5月）。事前予約制としたことで、長蛇の搬入待ちの車列は解消され、待ち時間の短縮につながった。しかしながら、まだ予約制になったことを知らずに搬入される方が少数あるため、今後も周知、広報等が必要と考える。				
<b>決算の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
区分	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
事業総額	4,444	8,882			
うち佐賀市の負担額	0	0			

### 2 成果指標の目標及び実績

成果指標①						単位
予約率						%
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
-	80.4	100.0	100.0	100.0		

成果指標②						単位
土曜日搬入件数（一日平均）						件
R2 実績	R3 目標 実績	R4 目標 実績	R5 目標 実績	R6 目標 実績		
151	95 61.4	95	95	95		

### 3 事業成果の振り返り

成果目標の達成状況	成果目標の達成状況に対する分析
①達成している	<ul style="list-style-type: none"> <li>搬入車両で混雑することがなくなり、待ち時間の解消と安全確保が図られた。</li> <li>引っ越しなどで複数回の搬入が必要な場合も、受入可能となり、利便性が向上している。</li> </ul>



成果目標達成に向けた対応策等
<ul style="list-style-type: none"> <li>事前予約制の浸透のため、更に広報・周知する必要がある。</li> <li>現状、土曜・祝日の搬入台数減少による平日搬入の増などの影響は見られないが、状況を注視していく必要がある。</li> </ul>

## 令和4年度 事務事業実績報告シート

<b>事務事業名</b>	休止最終処分場廃止検討経費	<b>事業期間</b>	令和 3 ~ 令和 3 年度
<b>担当部署・係名</b>	循環型社会推進課 施設管理係	<b>担当課長名</b>	馬場 佳子
<b>総合計画における位置づけ</b>	<b>政策</b>	恵まれた自然と共生し、人と地球にやさしいまち	
	<b>施策</b>	20持続可能な循環型社会の構築	
	<b>基本事業</b>	ごみの適正処理	

### 1 事務事業の基本情報

<b>事業概要・目的</b>	クリーンセンター大和、富士クリーンセンター、川副東与賀清掃センター各最終処分場の廃止に向けた問題・課題の解決方法の検討のため、専門機関による調査分析、解決手法の提案業務を実施。				
<b>事業の対象者</b>	クリーンセンター大和、富士クリーンセンター、川副・東与賀清掃センター各最終処分場				
<b>根拠法令等</b>	廃棄物処理法 廃棄物処理施設 廃止				
<b>決算額の推移（単位 千円） ※職員人件費は含まない</b>					
<b>区分</b>	<b>R2年度</b>	<b>R3年度</b>	<b>R4年度</b>	<b>R5年度</b>	<b>R6年度</b>
<b>事業費総額</b>		6,171			
うち佐賀市の負担額		6,171			

### 2 事業の活動実績

<b>活動実績①</b>					<b>単位</b>	
事業の進捗率					%	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		
	100					
<b>活動実績②</b>					<b>単位</b>	
R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績		

### 3 活動実績の推移に関する分析及び今後の見込み

<p>今回の提案を受け、各最終処分場の廃止に向けた問題・課題の解決方法の検討を行う。</p>
--